

## ペルー 世界のブルーベリー市場でのリーダーシップの確立

[EastFruit 2025年4月16日](#)

EastFruitのアナリスト達は、ペルーが世界最大の生鮮ブルーベリー輸出国の王冠をチリから奪ったことを2020年に最初に報告し、これは大きな驚きとして受け止められた。5年後の現在、世界市場におけるペルーの優位は、数量と金額において完璧である。

ペルーは2024/25年度シーズンに、2024年の末までで前年比57%増の32万6千トンという最高記録の輸出量を達成した。ペルーの農業開発灌漑省によると、この数量(2025年4月までを含む)は、22億7千万ドル以上の輸出額に相当する。ペルーの公式情報筋は、「ペルーは世界最大のブルーベリー輸出国としての地位を固めた」と伝えた。

2024年に急増する前の2023年の収穫量はやや減少した。それがメキシコ等からの輸出量の減少と相まって世界のブルーベリー価格が上昇し、この年にはペルーの輸出量は減少したにもかかわらず、輸出額は23%急増したとEastFruitは伝えている。2023年終盤までに、ブルーベリーの平均価格は1kg当たり8.5~8.9ドルに急騰し、2022年の約2倍の水準となった。この価格の反発は供給が逼迫する中でも需要が旺盛なことを示し、ペルーの生産者に恩恵をもたらした。

しかし、今シーズンにペルーから輸出された生鮮ブルーベリーの価格は1kg当たり4.5~4.6ドルと推定され、2023/24年度に達成されたレベルの約半分に過ぎない。この価格の下落は、生産量の回復と継続的な拡大によるものである。

ペルーの成功は、周年供給の能力と栽培面積の急速な拡大によるものである。ペルーの出荷シーズンは従来の北米の夏の期間を超えて広がっており、ペルーはその海岸地方と高原地方の特有の気候を利用して、「チリや米国など他の国の最盛期以外にもブルーベリーを供給する」ことができる。ペルーの栽培面積は約2万ヘクタールであり(2016年のわずか2千ヘクタールから増加)、現代的な多収性品種のベリーに多額の投資を行っている。ペルーの平均収量は世界で最も高い部類に入る1ヘクタール当たり約13~14トンで、これによりペルーは年間30万トン以上を出荷することができる。

FAO(国連食糧農業機関)投資センターのエコノミストであるアンドリー・ヤルマック氏は、ペルーは主要な輸入国から地理的に離れているにもかかわらず、この高い収量水準のおかげで世界市場で成功裏に競争できると指摘する。

同氏は、「新しい品種と生産技術、収穫後処理・選別・輸出のためのよく発達したインフラ、さらに豊富で手頃な賃金水準の労働力、これらすべての要素が徐々に蓄積したブルーベリー栽培と物流のノウハウと相まって、世界のブルーベリー輸出におけるペルーの長期的なリーダーシップの基盤を形成している」と強調する。

2025年以降について、ペルーの業界関係者は、重大な気象の影響がない限り、短期的には年間35万トンを超えると予測している。実際、気象条件が良ければ、ペルーはさらなる記録を更新する軌道に乗っている。ペルーの成長率は、初期の頃の年率50%以上の猛烈な急上昇からは安定したペースに減速するかも知れないが、年率5~10%の増加であっても他の輸出国よりもはるかに優位に立つだろう。ペルーのブルーベリー輸出量は2019年から2023年の間に年平均14.5%増加し、これは毎年約2万8千トンの増加に相当し、いかなる基準に当てはめても非常に大きな量である。

市場に関しては、ペルーの上位の輸出先は、世界的なサプライチェーンにおけるペルーの重要性を浮き彫りにしている。2024年には、ペルーの生鮮ブルーベリー輸出の約55%が世界最大の輸入国である米国向けであり、さらに21%がオランダ(EUへの玄関口)、9%が香港(多くの場合、中国に再輸出される)に輸出された。近年、ペルーだけで世界の生鮮ブルーベリー貿易の約30%を占めると推定される。

特に、中国はペルー産ブルーベリーの需要を大幅に増やした。輸出業者は、中国のほか、インド、シンガポール、湾岸諸国等、他のアジア市場からの注文も力強く伸びていると報告している。この多様化は、輸出

量の増加に応じて複数の出荷先市場を確保するというペルーの戦略上の要である。ペルーは、年間を通じて安定的に高品質の果実を提供するその能力により、市場への出荷期間の幅が広がっている。

天候の問題(エルニーニョ関連の混乱等)を除けば、ペルーは2030年まで引き続き主要輸出国であると予想される。同国は依然として新しい地域で栽培面積を拡大し、市場の嗜好に合わせて品種を微調整している。

現在、ペルーの輸出量の11%以上を有機ブルーベリーが占めており、プレミアムなニッチ市場の獲得にも重点が置かれている。すなわち、ペルーは2025年～2030年の期間の世界のブルーベリー供給のペースメーカーとしての役割を担い、その出荷量と、市場価格に対する影響力は、今後数年にわたり増大し続けると見られる。ブルーベリービジネスへの投資を計画している者は、ペルーとの競争を意識する必要がある。